

電動工具で組み立ててカンタン
テーブルにもディスプレイ台にも
用途いろいろいる、収納もコンパクト
いれこ
「入籠式テーブル」を
作るのう



段々に並べても、単独で使っても…使い方は自由自在。
収納にも省スペースで便利な「入籠(いれこ)式テーブル」。(作り方は次ページ)

大・中・小、3つのサイズのいれこ入籠式テーブル。3つ合わせて使うのも、別々に使うのも自由で使い勝手バツグンです。重ねて収納できる入籠式なので、場所もとりません。電動工具があれば、組み立てカンタン。いっしょに作ってみましょう。制作の指導は、島忠ホームセンター
—和光店。工具協力は、松下電器産業の「マイジョイ」シリーズです。



【電動工具】①充電パワーカッター
②充電ドリルドライバー
③充電インパクトドライバー

《工具協力》松下電器産業(株)



【木材・用具】①木材(ラジアタバイン集成材、ラジアタ丸棒)
②サンドペーパー ③木製タボ(直径10mm・長さ45mm)
④木工用ボンド ⑤ドライバービット(木工用、下穴あけ用、プラス)
⑥鉛筆 ⑦水性ペイント(イエロー、ピンク、オリーブ) ⑧カネジャック
⑨メジャー ⑩木ネジ(51mm) ⑪ハケ ⑫ノコギリ

ホームセンターで、
こんな材料、用具を準備しましょう



「入籠(いれこ)式テーブル」

電動工具を使うと、テーブル3台の組み立てもアツという間！

仲良し一家、3世代女性チームが頑張る ステキなインテリアに、「入籠式テーブル」作り

●アドバイス 島忠ホームセンター和光店
DIYアドバイザー 加藤さん



●パコマ読者スタッフ
毛塚理絵さんとお義母さまのカオルさん、
心優ちゃん(3歳)、誠己くん(8カ月)／埼玉県戸田市

「えっ、3台も作るの!?」……でも、ご安心を！
電動工具のパワーで、女性にもカンタンにできる

今回、パコマDIY教室に参加した毛塚さん一家は、読者スタッフの理絵さんとお義母さまのカオルさん、8歳の心優(みゆう)ちゃん。8カ月の誠己(まさき)くんもベビーカーに乗った応援隊です。仲良し一家の女性3世代チームで、元気に取り組ましました。理絵さんは、以前から電動工具には親しんでいます。最新モデルの「マイジョイ」シリーズを見て、「こんなに使いやすく、見た目おしゃれになったんですね」とビックリ！



「さあ、教室開始！作業の順序は…」とDIYアドバイザーの加藤さん。

最初に、DIYアドバイザーの加藤さんから、組み立ての手順や工具の扱い方の説明を受けて作業スタートです。
「今回は、大・中・小の入籠式テーブルを3台、同じやり方で作りますが、電動工具を使うので、力仕事はありません。女性向きの作品と言ってもいいくらいカンタンですよ」と加藤



「私にも使えるかな？」とパワーカッターは初めての理絵さん。最初はちょっと緊張ぎみ…。

さん。最初に木をカットする工具のパワーカッターは、理絵さんにも初めて電動工具です。でも、1、2度使っただけに慣れました。「木面に直角に刃をあてて、手元のスイッチを押しながらゆっくり前に進めるだけ」という加藤さんのアドバイス

ドリルドライバーとインパクトドライバーで穴あけもネジ締め作業も、スイスイ進行！

パワーカッターで木のカットはアツという間に終了。次は組み立て作業です。ネジ締め部分にはすべてドリルドライバーの下穴あけ用ビットで下穴をあけます。こうすれば、長い木ネジ締めもラクにできて板が割れる心配もありません。今回の作品は、ネジ跡を隠すためのダボ仕上げにするため、ドリルドライバーの木工用ビットで大きな穴をあけるのもポイント。「ドリルドライバーなら大きな穴も一瞬ですね」と、理絵さん。スイッチを入れて作動し始めると、ネジ元を照らすライトが点灯するドリルドライバーは「マイジョイ」

シリーズのニューモデルで、スイッチオフの状態でも手締めもでき最後の締めが確実にできるといいます。レモン。
木ネジを締めるインパクトドライバーは、上からたき込むハンマー機能とネジ締めパワーを同時に発揮する頼もしいヤツ。女性の手でも木ネジがラクに締まります。次に、木ネジの上からダボを打ち込み、飛び出した部分を木面のツラに沿ってノコギリで切り落とすと組み立てはほぼ終了。脚部の強度を増すため、脚の下部に丸棒を通して、デザイン効果も高めます。ダボ打ちが初め

6 ネジを締められた丸穴の中に木工用ボンドをつけ、木製ダボをさしこみ、木面のツラに沿って(飛び出したダボを)ノコギリで切る。



7 ダボを切った跡とテーブル全体にサンドペーパーをかけ、表面をなめらかに磨く。



*インテリアに合わせた好みの色にペイントするとできあがり。



5 丸棒を地面のサイズ通りにノコギリで切り木工用ボンドをつけ、木ネジで脚部に丸棒をとりつける。



3 丸穴の中心部に、ドリルドライバーの下穴あけ用ビットで下穴をあける。



4 テーブルの天板と脚部の接着面の木口に木工用ボンドをつけ、少し乾かしてから木ネジでとめる。(インパクトドライバーのプラスビットを使用)



1 木材に図面どおりにスマ入れして、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるところもあります)



2 ネジ締めめの位置に、ドリルドライバーの木工用ビット(10mm)で深さ10mm程度の丸穴をあける。



使い慣れたドリルドライバーは、余裕で使いこなしても、おしゃれなデザインと新機能には驚きも!



丸棒を木ネジでとめる最後のひと打。ここができたなら組み立て完成です。

この理絵さんとカオルさんでしたが、この作業も加藤さんの指導でスムーズに進行。最後は、心優ちゃんも参加して、ダボ跡とテーブル全体をサンドペーパーで最初に磨いて作品完成です。「最初は、3台も作るのって大変かな、と思いましたが大、大きさが大・中・小と違うだけで、作り方

は同じ要領なので、思ったよりカンタンでした。電動工具がこれだけ揃えば、ほかにいろいろの作りたくなりますね」と、毛塚家の女性チームはやる気いっぱい。残念ながら今回は参加できなかったお父さんも加わり、これから毛塚家には、手作りの作品が増えていきそうですね。



「心優もてっだよ」と、サンドペーパーでせっせと磨きます。

